

日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会 水化学管理分科会
第2回 BWR 水化学管理指針作業会 議事要旨

日 時： 2009年4月10日（金） 13:30～18:00

場 所： （財）電力中央研究所 大手町第4会議室

出席者： （敬称略）

委員）平野，山崎，碓井，梶谷，佐藤，市川，篠原，實重，久宗，星野（中森代），以上10名
常時参加者）猪俣，山田以上2名

配付資料

P11B1WG2-1 第1回 BWR 水化学管理指針作業会 議事要旨

P11B1WG2-2 BWR 水化学管理指針作業会メンバー構成

P11B1WG2-3 作業方針

P11B1WG2-4(1)「BWR 水化学管理指針」の構成と目次案

P11B1WG2-4(2) 海外の「水化学ガイドライン」におけるアクションレベルの例

P11B1WG2-5 BWR 水化学管理指針作業会 活動スケジュール（案）

議事要旨：

- 1)資料 P11B1WG1-1 第1回 BWR 水化学管理指針作業会 議事要旨の内容が確認された。なお、委員10名が出席しており、決議に必要な定足数を満たしていることが確認された
- 2) 資料 P11B1WG1-3「BWR 水化学管理指針作業会メンバー構成」によりメンバーを確認した。
なお、常時参加者である猪俣氏（日本原子力技術協会）から山田氏（日本原子力技術協会）への変更が報告され、承認された。
- 3) 活動方針について（P11B1WG1-2,）

碓井委員より、水化学管理指針の活動方針案について説明があった。本件に関する主な議論内容を以下に示す。

- ① 本指針は従来の水化学管理から高経年化を考慮したさらに「より良い水化学管理」を目指すことを活動方針とすることを確認した。
- ② 指針作成の目的は「原子炉等構造材の健全性確保」「燃料被覆管の健全性確保」「線源低減」とし、放射性廃棄物発生低減も考慮した、総合的、調和的な評価、検討を行い合理的な水化学管理指針を策定することとした。なお、線量低減は水化学管理からの低減であることから線源低減という言い方に統一する。
- ③ 指針の内容は「要求事項の達成すべく水質管理値の設定」「設定根拠および技術的背景の明確化」「プラント監視方法（測定項目、頻度、記録）」「設定値の設定区分とその対応」「将来技術の位置づけ」とする。また、「将来技術」は水化学管理をより良くするための技術と位置づける。なお、言葉は適切な表現に最終的に見直す。
- ④ 指針を策定する上で、指針をだれがどのような目的でどのように使うかの共通認識を持つことが重要との意見が出された。

4) 「BWR 水化学管理指針」の構成と目次案について

山崎副主査より、P11B1WG2-4(1)により「BWR 水化学管理指針」の構成と目次案について説明があった。また、P11B1WG2-4(2)により海外の「水化学ガイドライン」におけるアクションレベルと管理項目の例の紹介があった。本件に関する主な議論内容を以下に示す。

- ① 管理値の設定区分は「レベル1」:許容できる値 「レベル2」:維持するように努める値、「推奨値」とする。「推奨値」は目標として目指す値として定義する。本値は、規格基準としてエンドースされることに配慮して技術的根拠、海外実績、経済性等から総合的に評価、検討して設定する。
- ② 「推奨値」が「より良い水化学管理」の目標として目指す値であるのならば達成可能だけで決めるのは適当ではないとの意見が出された。
- ③ 管理値からの逸脱時の措置は、プラント停止措置も含めて検討していくこととする。
- ④ 対象とする運転状態は指針作成の目的に照らして、材料への影響などが懸念される運転時、起動時・停止時とする。また、対象系統は原子炉水、復水[復水脱塩塔出口水]および給水とする。
- ⑤ 対象系統毎の管理項目については例として分科会へ紹介する。
- ⑥ 本文にプラント監視方法（サンプリング、分析、記録）を追加する。
- ⑦ 水化学管理指針は環境側での管理指針であることから、機器点検頻度等の機械学会で規定している内容は指針には織り込まない。
- ⑧ 将来技術に水化学に係わる学協会ロードマップとの関係を織り込む。
- ⑨ 指針案を作成するに当たっては本文と解説を対にして記載する方法が見やすいとの指摘があった。

5) BWR 水化学管理指針作業会 活動スケジュール (案) について、久宗委員より説明があった。

4/17の水化学管理分科会で本作業会の活動方針、内容を説明する。本作業会は基本的に1回/月で実施する。具体的な作業項目、およびスケジュールは4/17実施される水化学管理分科会での活動方針説明結果より決定する。

6) その他

次回は平成21年5月29日(金)午後を開催することとした。

以 上